

平成 26 年度 第 1 回 富田林市総合計画フォローアップ会議 会議録概要

◆日 時：平成 27 年 1 月 28 日（水）（13：30～16：30）

◆場 所：富田林市役所 5階 介護認定審査会室

◆出席者：吉川委員(座長)、大西委員、湯口委員

欠席者：前川委員

事務局：山下、塚本、石那田

発言者	発言概要
事務局	<p>■はじめに</p> <p>■フォローアップ会議設置要綱により、会議の役割と組織の概要について説明。</p> <p>■委員紹介 吉川委員、大西委員、前川委員(欠席)、湯口委員</p> <p>■事務局紹介 山下、塚本、石那田</p> <p>■座長・職務代理の選出 要綱第4条の規定により互選により座長を選出願う。 ⇒吉川委員を座長に選出。 座長の指名により、職務代理に前川委員を選出。</p> <p>～座長による議事進行～</p>
座長	<p>■会議の公開について (事務局より「フォローアップ会議設置要綱」及び「会議の公開に関する指針」について説明後) ⇒「公開」とすることに決定。</p>
座長	<p>■会議の傍聴人数について (事務局より案の説明後) ⇒会議の規模を勘案し、5名程度とすることを決定。</p>
座長	<p>■議事録の取扱いについて (事務局より案の説明後) ⇒ ・議事録の作成は事務局で行う。 ・議事録は委員の発言内容の要約筆記としてまとめ、次の会議までに郵送にて送付する予定。 ・発言者氏名はそのまま記載するのではなく、「座長」、「委員」、「事務局」という職名で表記する。 ・議事録は公開することを決定。</p>

座長	<p>■会議のルールについて (事務局から案の説明後)</p> <p>⇒・1回の会議は、最大3時間とし、会議運営が円滑になるように努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発言は座長の許可を必要とする。</li> <li>・資料配布は座長の許可を必要とする。</li> <li>・事務局からの資料は、事前に配布する。</li> <li>・会議の冒頭で、前回「会議録」の確認と承認を行う。</li> <li>・評決事分類は座長を除く委員の多数決による。ただし、賛否同数の場合には座長が決すること。</li> </ul>
座長	<p>■会議の開催日程と回数について (事務局から案の説明後)</p> <p>⇒本日の第1回会議を含め、2月13日(金)に第2回、2月23日(月)に第3回、3月中旬に第4回、3月下旬に最終のまとめと市長への報告会を兼ねた第5回の、計5回を開催することを決定。</p>
座長	<p>■会議の進め方について</p> <p>会議の進め方について、事務局から提案があればお願いします。</p>
事務局	<p>今年の会議の進め方は次の3つの柱で進めていただきたいと思いますと考えている。1点目が、これまでのフォローアップ会議で積み上げてきた資料の検証を行うこと。2点目が、平成26年8月に政策推進課が行った第4次総合計画の全計画事業の進捗状況等に関する全課ヒアリングの取りまとめ結果の検証を行うこと。3点目が、フォローアップ委員と担当課の職員の意見交換の機会を設けること。</p> <p>以上を提案する。</p>
座長	<p>この件について、何か意見はありませんか。</p>
委員	<p>3点目について、担当課の職員から一方的に報告していただくような場ではなく、ラウンドテーブルのような場を希望する。</p>
事務局	<p>■欠席委員の意見について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第4次総合計画は8年目を迎えており、これまでフォローアップ会議で提示してきた工程表からみても重要な時期となっている。次期総合計画を策定する方向で進めてほしい。</li> <li>・昨年のフォローアップ会議でも議題になったが、今年は担当課にもフォローアップ会議に出席してもらい、①3つのしくみづくりがどのように出来ているか、②今後に向けて市民参加をどのように受け止めているか、についてラウンドテーブルで直接意見交換できるような機会を設定してほしい。</li> </ul>

座長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度もフォローアップ会議が開催されるならば、市民がどう感じているのかも聞いてみたい。</li> <li>・現業や現場の職員の方が、市民と直接触れ合う機会も多いので進んでいるのではないか。</li> <li>・住民自治基本条例が整備されることで、3つのしくみづくりが進むこともあると考えるので、それも含めて今年度のフォローアップ会議では検討したい。</li> </ul> <p>各委員の御意見を踏まえ、今年の会議の進め方は次の3つの柱で行う。1点目が、これまでのフォローアップ会議で積み上げてきた資料の検証を行うこと。2点目が平成26年8月に政策推進課が全課対象に行った第4次総合計画の進捗状況等に関するヒアリングの取りまとめ結果の検証を行うこと。3点目が、フォローアップ委員と担当課の職員のラウンドテーブルでの意見交換の機会を設けること。</p> <p>また、スケジュールとしては、本日第1回目で例年の資料の検証を行う。第2回目は、全課対象ヒアリングの取りまとめ結果の検証を行う。第3回目は、第2回を踏まえた担当課との意見交換を行い、第4回目はまとめを行うことを基本に、進行状況により適宜判断して進める。</p> <p>以上のことを決定。</p>
座長	委員の意見にも出たが、自治基本条例の制定状況はどうか。
事務局	大阪府下では、16団体が制定している。
座長	自治基本条例のサンプルをいくつか用意してほしい。
事務局	次回の開催案内と同時に郵送する。
	～資料説明～
事務局	<p>■フォローアップシート①（資料2）について説明</p> <p>各事業の実施段階における3つの「市民参加のしくみづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① “さまざまな立場の市民が行政活動に参加できるしくみづくり”</li> <li>② “行政職員の市民意識の理解を促すしくみづくり”</li> <li>③ “市民と行政の協働を推進するしくみづくり”</li> </ul> <p>の年度別の取組み状況をまとめた表で、前回の平成24年度に作成・報告した内容に、平成25年度の取組みを追加している。</p>
事務局	<p>（平成25年度の新たな取組みの例示）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1節 分類番号1番『フェイスブックの運用開始』</li> <li>・第1節 分類番号5番『市民会議にて市民公益活動推進指針第2期実施計画の中</li> </ul>

	<p>間報告書の作成』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1節 分類番号6番『例年実施している市民アンケートに代えて子育て世代アンケートの実施』</li> <li>・第1節 分類番号10番『災害時の多言語支援センター設立訓練、避難所体験』</li> <li>・第2節 分類番号25番『町総代会理事会と各課との意見交換会』</li> <li>・第3節 分類番号29番『地域防災マップ作成支援事業』『災害時の多言語支援センター設立、避難所体験』</li> </ul> <p>を説明。少しずつではあるが、市民参加の取り組みは増えている。</p>
座長	<p>白紙の部分が気になる。例えば、第1節 分類番号3番の『ワークショップの有効性や問題点の検討・見直し』や第1節 分類番号4番の『傍聴の有効性や問題点の検討・見直し』である。ワークショップについては、検討しているのか。</p>
事務局	<p>幅広い意見を取り入れるためのワークショップについて、現場では検討しているが、ワークショップそのものを検討するような場はなかった。</p>
座長	<p>第1節の分類番号8番の『パブリックコメント制度の活用』では、パブリックコメントの実績を記載しているが、活用するしくみづくりを行ってほしいというのが趣旨である。例えば、パブリックコメントを実施してどうだったか等、行政内部で情報を吸い上げるしくみや、情報を共有するしくみはないのか。</p> <p>今後フォローアップシートの見方や考え方について、行政の視点とフォローアップ委員の視点が近づくような工夫をしていただきたいと思います。</p>
座長	<p>フォローアップシートに記載された情報はどのようにして集約したものか。</p>
事務局	<p>政策推進課で把握したものである。</p>
座長	<p>第4次総合計画の策定以前は、このような情報の整理はなく、第4次総合計画ができたことで、このような観点で各課の事務が整理されたとも言えることができる。</p>
委員	<p>分類番号31、32、33、34番の『各種情報を広報やウェブサイト上へ掲載』については、昨年度から数値が上がっていないはなぜか。過去は少しずつ上がってきたが。</p>
事務局	<p>広報誌を通じて情報を発信する担当課が固定化されているものとする。</p>
事務局	<p>■フォローアップシート②（資料3）について説明</p> <p>“縦系”である施策ごとの個別事業の実施状況と、各事業に関連する「3つのしくみづくり」の状況を○×で表して取りまとめたシート。また、この資料は、施策の事務事業ごとの、予算と決算の額を載せている。</p> <p>また、「3つのしくみづくり」については、「○×」を記載している。経年的にまと</p>

	<p>めているので、昨年までと比較して進んだものが分かる。</p>
座長	<p>フォローアップの資料は、一義的にはフォローアップ会議のための資料ではあるが、職員の実務に役立つものでないと意味がない。</p> <p>「〇×」は誰が評価したものか。</p>
事務局	<p>各課が自己評価したものである。</p>
委員	<p>事業の性質によっては「〇」ばかりになるものや、「×」にならざるを得ないものもあると考える。</p>
座長	<p>自己評価ということなので厳しく評価しているものも多いように思える。フォローアップ会議と担当課の意見交換を行うことで、「〇」になるものはありそうだ。担当課はもっと自信をもってよいと思う。</p> <p>この事業の選択はどのようにしておこなっているのか。</p>
事務局	<p>実施計画で管理している事務事業であり、新規事業や重点事業が該当する。</p>
座長	<p>事業名だけを見てもすべてがイメージできていない。原課との意見交換時には、この点についても掘り下げて聞いてみたい。</p>
事務局	<p>■各種数値データ一覧表（資料4）について説明</p> <p>施策別に、関連する個別分類目について、人数や回数、パーセンテージなどの指数を用いて、その推移を統計として整理。</p> <p>⇒数値の増減によって一概に良し悪しを判断できるものではないが、数値の把握・確認は、総合計画の進捗管理においては大切な視点であり、毎年、データの積み上げを継続している。</p>
座長	<p>第4次総合計画以前にもこのような数値データを取っていたのか。民間はデータを集めて、活かしている。この点は、行政も学ぶべきではないかと思う。</p> <p>各課にフィードバックしてデータを活かしたり、庁内で情報共有してほしい。数字に敏感になったら、アイデア出しにつながることもあると思う。</p>
事務局	<p>個々のデータは整理されていたはずだが、総合計画の体系に沿って、経年的に整理した表はなかったと思われる。各課にフィードバックはしているが活用するまでには至っていないものと考ええる。</p>
座長	<p>人口についての数値データはないのか。</p>
事務局	<p>各種数値データは、総合計画の施策大系に基づいたものである。人口については、資料7の第7期実施計画の6ページ以降に本市の人口推移や年齢別人口などの表を</p>

	載せている。
	～休憩～
事務局	<p>■平成25年度事務事業評価集計表（資料5）について説明 行政評価シートの中で設定している成果指標について、その予定と実績から進捗状況を確認する資料。</p>
事務局	<p>■平成25年度 事務事業の施策別分類（資料6）について説明 全体の事務事業と、そのうちの行政評価対象事業、行政評価実施事業等の情報について整理した資料。</p> <p>【平成25年度】 評価対象外を含めた全事業⇒920 事業 評価対象事業⇒622 事業 評価シート作成事業⇒295 事業 昨年と比較して、新たに追加された事業と終了した事業を差引して4事業増えている。</p>
事務局	<p>昨年から引き続き、19の事業については次の個票(事務事業評価表)を用いて点検する。</p> <p>(個票を配布)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1節第1項「平和のつどい」</li> <li>・第1節第2項「人権文化センター事業(講座事業)」</li> <li>・第1節第3項「男女共同参画社会の形成」</li> <li>・第2節第1項「広報誌発行事業」</li> <li>・第2節第2項「小学校耐震及び補強事業」</li> <li>・第3節第1項「保育所職員研修事業」</li> <li>・第3節第2項「生涯学習推進事業」</li> <li>・第4節第1項「救急救命士の育成事業」</li> <li>・第4節第2項「がん予防対策事業」</li> <li>・第4節第3項「地域生活支援事業」</li> <li>・第4節第4項「保健事業(特定健康診査)」</li> <li>・第5節第1項「公害対策事業」</li> <li>・第5節第2項「公園管理事業」</li> <li>・第6節第1項「防犯対策事業」</li> <li>・第6節第2項「道路維持補修事業」</li> <li>・第6節第3項「(仮称)若松地区公共施設再整備事業」</li> <li>・第7節第1項「下排水路管理事業」</li> <li>・第7節第2項「商業活性化総合支援事業」</li> <li>・第7節第3項「観光振興事業」</li> </ul>

<p>事務局</p>	<p>事務事業評価表の見方についての説明。総合計画の施策大系、事務事業名、区分ごとの評価については以下の指標を使っている。</p> <p>評価ランク：事業全体について、改善策を取り入れているかどうか。A：改善策を取り入れた、B：従来通り、C：事業縮等で、目標設定を下げた場合。</p> <p>有効性：成果指標・活動指標について、ともに改善に向けた数値を設定しているかどうか。A：改善に向けた数値を設定している、B：従来通り、C：事業縮小などで、現状よりも低い目標を設定している。</p> <p>効率性：費用対効果について、改善策を取り入れているかどうか。A：改善策を取り入れている、B：従来通り、C：以前よりも費用対効果が低い方法を予定している。</p> <p>必要性：市民にとっての必要性が増しているかどうか。A：必要性が増している、B：従来通り、C：必要性はなくなっている。</p> <p>公平性：対象となる市民の数を増やす、受益者負担を取り入れるなど、公平性を高めるような改善策を取り入れているかどうか。A：改善策を取り入れている、B：従来通り、C：対象となる市民の数を減らした、また受益者負担をなくした。</p> <p>対象については、実施主体と合わせて3つの市民参加のしくみのどれに該当するかを記入するよう統一している。</p> <p>活動指標については、予定と実績を記入している。</p> <p>成果指標については予定値と実績値を記入している。</p> <p>人件費については、当該事業に係る正職員の人件費を配賦・賦課することによって、年間の人件費を算出している。</p> <p>事務事業評価表は、行政内部の書類であって、公開が前提となっていない文書のため、市民目線でわかりやすい表現にはなっていない部分はある。しかしながら、縦系の部分については、例えば、第1節第1項の平和の集いでは、前年度の成果実績を踏まえ事業見直しを実施し、成果実績が回復しており、行政評価の活用によって事務改善が進んできていることが分かる。</p> <p>そういった点を考えれば、点検した事業を見る限り、基本計画の縦系部分は着実に進展しているものとする。</p>
<p>座長</p>	<p>指標設定して、評価することが定着してきていることは評価できるし、人件費を割り振るといふ発想もよい。</p> <p>町会加入世帯数は確かに件数が増えているが、世帯数も増えている。市民相談事務の件数についても、相談件数の数字の増減だけ注目しても判断が難しいと思う。</p> <p>最初は、指標づくりにも苦労があったと思うが、最近では安定してきているように見受けられ、概ね進んでいると思う。</p>
<p>委員</p>	<p>障がい福祉課の成果指標について、ほとんどが空欄になっている。予定数が記載できないのは理解できるが、実績が空欄というのはおかしいのではないか。</p>

事務局	<p>成果指標の設定が難しい事業もある。成果指標については設定がないが、活動指標については設定がある。このシートには活動指標が反映されないため、そのような見え方になっている。福祉関係については、成果指標はなじまないものも多いと考える。</p>
座長	<p>成果指標については、どう考えるべきかなどの指導はしていないのか。事業全体を評価する指標と、ある一つの事務に絞った指標では、評価に差が出ると感じる。基本的には各課の判断であると思われるので、今後は明確にどちらのスタンスで評価すべきかを決めた方がいいと考える。</p> <p>指標については、途中での変更はできるのか。</p>
事務局	<p>成果指標等に関しては、行政評価シート入力マニュアルを作成し、各課が同じ視点で入力できるようにしており、随時相談も受けている。</p> <p>また、継続評価の視点から、原則的には途中で指標を変えないようにしている。</p>
事務局	<p>■第4次富田林市総合計画 取り組み状況の総括について(当日配布資料)</p> <p>第4次総合計画の計画期間中の全事業について、25年度末の状況で各課に①市民参加の3つの取組み、②事業の進捗状況、③今後の重要度、④今後の方向性についてヒアリング調査を実施した。</p> <p>① 市民参加の取組みについては、3つのしくみづくりについて、それぞれ「A：十分取組めた」「B：取組んでいる」「C：取組むことができていない」「D：施策の性質にそぐわないため取組むことができない」の4段階で評価した。グラフについては、Dの数値を除いたものを母数として、作成している。</p> <p>② 進捗状況については、「A：実施しており、計画の目標を達成済み(見込み)」「B：実施中」「C：今後(平成28年度までに)実施する」「D：方向性変更等の理由により、実施しない」の4項目で評価した。</p> <p>③ 今後の重要度については、「A：重要性は高い」「B：やや重要」「C：ふつう」「D：あまり重要ではない」「E：重要ではない」の5段階で評価した。</p> <p>④ 今後の方向性では、「A：継続(維持)」「B：継続(改善)」「C：見直し(拡充)」「D：見直し(縮小)」「E：廃止」の5段階で評価した。</p>
座長	<p>各課が評価をつけたのか。</p>
事務局	<p>原則的には各課が評価したものだが、ヒアリングを通じて評価者の視点にバラつきがあることが分かった場合には、できるだけ同じ視点で評価できるようなアドバイスして、再評価をしていただいた。</p>
座長	<p>市民参加について、正直に「C：取組むことができていない」という評価を付けてあるものもあり、また、今後の方向性で、「E：事業を廃止すべき」と考えているものが出ているのは画期的である。</p> <p>今日すべてを検証するのは難しいので、各自で精査し次回の議題としたい。</p>

座長	今年度8年目を迎えているということで、今回の報告書から、第4次総合計画を総括した内容を入れていきたいと考える。
事務局	どうということが達成できていて、どういう問題点があったのか、積み残しはどんなものかを整理して、今後の課題という形で提案していただきたい。
座長	一度、資料を持ち帰り、例年の点検の部分を含めて各自で精査したうえで、第2回の前半で議論したい。
事務局	次回の日程等の確認をして終了。 (第2回は、2月13日(金)13:30~3階庁議室で行う。)